

総合資源エネルギー調査会
省エネルギー・新エネルギー分科会 省エネルギー小委員会
建築材料等判断基準ワーキンググループ（第14回）
議事要旨

1. 日時：令和4年2月15日（火曜日） 14時00分～16時00分

2. 場所：経済産業省別館1階 104会議室
（※オンライン開催）

3. 出席者：

委員

田辺座長、池本委員、井上委員、岩前委員、加藤委員、鈴木委員、
中村委員、二宮委員、前委員、望月委員、山下委員

オブザーバー

全国複層硝子工業会、板硝子協会、（一社）日本サッシ協会、
樹脂サッシ工業会、（一社）日本建材・住宅設備産業協会、
（一社）日本建設業連合会、（一社）住宅生産団体連合会、
（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構、
国土交通省住宅局、環境省地球環境局地球温暖化対策課脱炭素ライフスタイル推進室、
経済産業省製造産業局生活製品課

事務局

経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー部省エネルギー課

4. 議 題：

- 1 サッシ及びガラスに関するとりまとめ（案）について
- 2 窓の性能表示の各論点の方向性について
- 3 今後の進め方

5. 議事要旨：

議題1 サッシ及びガラスに関するとりまとめ（案）について

資料1について事務局から説明を行い、とりまとめ（案）については座長一任で最終化の上、公表することです承された。委員からの主な指摘内容は以下のとおり。

- ・ 中高層住宅を含むその他建築物等用について、今後検討を進めることは重要。
- ・ 住宅の断熱性能は、窓だけでなく壁等の断熱材の組み合わせにより決まるため、今後断熱材の目標基準値の検討に当たっては、今般の窓の目標基準値の設定においてベースとなった仕様を考慮することが必要ではな

いか。

議題2 窓の性能表示の各論点の方向性について

資料2について事務局から説明を行い、その後質疑応答。主な内容は以下のとおり。

- ・ ラベル貼付について、事務局案のとおりカタログやショールーム等での掲載から始めることが現実的ではないか。
- ・ 一方で、事務局案にもあるとおり、将来的には中間事業者も窓の断熱性能を決定できるよう改善していくことが望ましいのではないか。
- ・ 全体の星の数については、市場に出荷されている製品の平均的な性能や性能分布、将来評価されるべき性能等級の数を考慮すると、6つ星が妥当ではないか。
- ・ 日射熱取得率を表示するのであれば、消費者のミスリードを防ぐため、ガイドライン等の適切な選択に資する補足説明資料が必要ではないか。
- ・ 省エネに寄与する性能であることが消費者に容易に伝わるよう、デザインは家電の省エネラベルと類似のものとすることが良いのではないか。

議題3 今後の進め方

資料3について事務局から説明を行い、了承された。

以上

お問合せ先

資源エネルギー庁省エネルギー・新エネルギー一部省エネルギー課

電話：03-3501-9726

FAX：03-3501-8396